

2010年
7月号

Mini-WAN

～三河湾海事情形だより～



Mini-WANとは

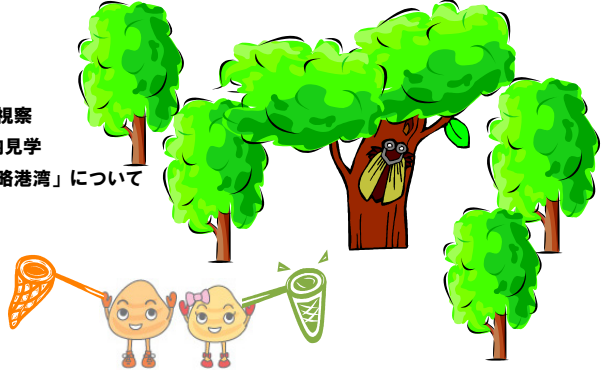
港や海に関連する新鮮な話題を中心に、地元の皆さんとのつながりを大切にする広報誌です。

☆CONTENTS☆

■最近のトピックス

- 三河湾浄化推進協議会 三河港海上視察
- 浜松工業高等学校土木科3年生が港内見学
- ニュースキーワード「国際ハルク戦略港湾」について
- 愛知県環境調査センター一般公開
- 渡し場かもめ会
- 西の浜クリーンアップ活動
- 三河港でテロ対策訓練実施
- 三河港関連事業計画等説明会

■編集後記



☆最近のトピックス☆

○三河湾浄化推進協議会 三河港海上視察

7月8日、豊橋市神野ふ頭のライフポートとよはしにおいて三河湾浄化推進協議会総会(事務局：豊橋市)が開催されました。今回は設立20周年という節目にあり、総会の前後の時間を活用して三河港を海上より視察していただきました。三河港に携わる市町から計33名の方が参加され、普段見ることのない海上から見た三河港というものを実感していただきました。また、船内では三河湾事務所が取り組んでいる深掘り跡の修復、干潟・浅場造成材の現地実証試験について説明し、環境事業に対する興味を深めていただきました。



「しおさい」船内の様子

三河湾事務所ホームページはこちら <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>

「海とみなとの相談窓口」全国共通フリーダイヤル

おーいに よくなれ みなと
0120-497-370

受付時間※/9:00～12:00と13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)

※一部の地域を除きます。



国土交通省中部地方整備局
三河湾事務所

〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1
TEL(0532)32-3251 FAX(0532)32-5049

衣浦港事務所

〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地
TEL(0569)21-2311 FAX(0569)21-2312

WEB <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>

E-mail info-mikawa@pa.cbr.mlit.go.jp

●全国どこからでも、この電話番号で最寄りの『海とみなとの相談窓口』につながります。

○浜松工業高等学校土木科3年生が港内見学

6月17日、静岡県立浜松工業高等学校土木科3年生38名が、みなとの役割を学習する目的で三河港に現場見学に来ました。

当日は晴れ、無風、波は穏やかで絶好の港内見学日和。生徒達は2班のグループに分かれて、三河港湾事務所のケーソンヤードにてケーソンの役割等をはじめとした港湾構造物の学習や、港湾業務艇「しおさい」に乗船して、岸壁、防波堤及び港内に立地する企業を海上から見学しました。

ケーソンヤードではケーソン（防波堤の本体となるコンクリートの箱）の完成までの製作過程と、ケーソンを据え付けて、防波堤としての役割を果たすまでの過程を説明しました。生徒たちは資料を見ながら当所職員の説明を理解しようと一生懸命に聞いている様子が印象的でした。ところどころ生徒たちに質問を投げかけましたが、ほとんどの生徒が初めて聞く話ばかりであるにもかかわらず、資料を見ながら考え、的確な回答をしていました。



防波堤を見学

また、港湾業務艇「しおさい」による海上からの港内見学では、沖合に設置してある防波堤に近づくくと、防波堤の様子を見入るように観察したり、「どうやって設置するの?」と担当職員に質問したりして熱心に学習していました。

工業高等学校の土木科で学習していますが、専門的に「港湾工事」に関して学習する機会は少ないと聞きました。生徒達にとっても馴染みの少ない分野ということもあり、戸惑いがあったかもしれませんが、今回の現場見学を機に、明日を担う土木技術者の卵が、港湾分野に興味を示してくれるといいと思いました。



船内の様子

○ニュースキーワード「国際バルク戦略港湾」について



最近、新聞、インターネット等で目にする『国際バルク戦略港湾』について解説します。

まず「バルク」とは、粉粒体のまま包装せずに積み込まれる貨物のことです。穀物等のドライバルクと原油等の液体バルクがあり、平成20年の世界の海上取扱貨物量ではコンテナ貨物が約16%、ドライバルク貨物が約37%、液体バルク貨物が約37%とバルク貨物の占める割合は非常に大きいものとなっています。

生活に欠かせない物資である資源、エネルギー、食料等の国際バルク貨物の世界的な獲得競争が進展し、輸送船舶も大型化が進んでいます。現在、2014年竣工を目指してパナマ運河拡張工事が行われていますが、それが完成すればこれまでよりもさらに大きな船舶が主流になります。船舶が大きくなると、喫水（船体の最下端から水面までの垂直距離）の大きな船が入港できなくなる、あるいは入港するために船に荷を満載しないという弊害が生じます。すなわち、大水深の港湾施設が必要になってくるということです。

すべての港湾を大水深にすれば膨大な費用がかかります。そこで、穀物、鉄鉱石、石炭を扱う港湾を対象に、大型船舶による一括大量輸入を可能にする港湾の「選択」「集中」により安定的かつ安価な輸送を実現するため、国際バルク戦略港湾を選定するというものです。

選定は、国際バルク港湾の計画の提案を募集し、選定基準との適合性、優位性、具体性、実現性等の観点から評価して行われます。

○愛知県環境調査センター一般公開

6月19日、愛知県環境調査センター（名古屋市北区辻町）で一般公開（テーマ：楽しく知ろう！身近な環境）が開催されました。これは、大人から子供まで愛知県の環境についてもっと関心を持ってもらう目的で、平成13年度から調査センターが行っているものです。

調査センター内では透視度計を使用した濁りの調査体験から、折り紙で海の生き物（ペンギン、カメ）を作る教室が開かれたりと参加者達は思い思いのブースで様々な角度から身近な環境について体験を通じて楽しく学んでいました。

今年10月に開催されるCOP10（生物多様性条約第10回締約国会議）が愛知県で開催されることに伴い、愛知県環境部等をはじめとする環境行政を担当する部局の主催で様々な環境に関するイベントが開催される模様です。

皆さんも下記ホームページ等から環境に関するイベント情報を入力し、積極的に参加してみてもはいかがでしょうか。

<参考> 環境省：中部地方環境事務所ホームページ
(<http://chubu.env.go.jp/>)
愛知県：環境部ホームページ
(<http://www.pref.aichi.jp/kankyo/>)



海のいきもの折り紙教室



透視度計による濁り調査

○渡し場かもめ会

6月6日、高浜市芳川町の老人ホーム高浜市安立（あんりゅう）荘前の海岸において渡し場かもめ会が主催で清掃活動、児童公園草刈が実施されました。

近所の小学生野球チームをはじめ100人余りの方が参加し、軽トラックの荷台が満杯になるほどのごみが回収できました。

清掃活動後には、透明度等の水質調査を実施して水質の監視も併せて行いました。

渡し場かもめ会は毎月1回の清掃活動(冬場を除く)、水質監視のほか、児童を対象に生き物調査等を実施しています。



清掃後の水質調査

○西の浜クリーンアップ活動

6月20日、渥美半島の先端の西の浜にて「西の浜クリーンアップ活動」が行われました。この活動は環境ボランティアサークル「亀の子隊」が定期的に行っている海岸清掃で、今回は三河港湾事務所の職員・家族も10数名参加しました。当日はどんよりとした曇り空ながらも雨はなんとか降らず、海岸清掃をすることが出来ました。

この「西の浜クリーンアップ活動」ですが、今回の活動が158回目、これまで回収したゴミの総重量はなんと40tを超えるそうです。きれいな海をこれからも残していくためには継続的な努力が大切なんだと感じた1日でした。



清掃活動の様子



総勢50名あまりの参加者がありました

○三河港でテロ対策訓練実施



不審船舶挟撃制圧訓練の様子

訓練は、神野ふ頭8号岸壁にて発見された不審者及び不審船舶に対して、警察等関係機関が共同して対処し、不審船等を確保することを目的に実施されました。陸上では、警察による逃走した不審者の制圧検挙訓練が行われ、海上では関係機関船舶による不審船舶挟撃制圧訓練が行われました。また、不審船舶から発見された不審物のエックス線検査及び爆発物処理の訓練も行われました。

今回、関係機関及び埠頭施設管理者が連携した訓練を実施することにより、事案発生時における関係機関の連携と事案対応体制の確認をするとともに、港湾の危機管理・保安対策について関係機関が危機管理意識の向上を図り、連携を強化していくことを確認しました。

6月22日、三河港神野ふ頭8号岸壁で、三河港危機管理コアメンバー会合・三河港保安委員会合同のテロ対策訓練が行われ、関係機関職員約50名及び船舶6隻が参加し、当事務所からは所長はじめ職員5名と港湾業務艇「しおさい」が参加しました。



訓練の様子

○三河港関連事業計画等説明会

6月18日、豊橋市神野ふ頭のライフポートとよはしにて三河港振興会主催の「三河港関連事業計画説明会」が開催されました。約170人が出席し、講師として当事務所長、海上保安庁三河海上保安署長兼三河港長、県三河港務所長、県企業庁三河港工事事務所長から、三河港に関する現況や整備計画などの説明が行われ、課題となっている重点港湾指定に向けて、地域一体となり取り組む必要性を確認しました。

現在三河港・衣浦港は「重要港湾」としての指定がされています。「重要港湾」とは、国際海上輸送網、国内海上輸送網の拠点となる港湾であり、他国との重要な役割を果たす港湾として位置づけられるものです。

国土交通省は国際競争力の強化の早期実現を目的とし、直轄港湾整備事業の選択と集中を図るため、具体的に、今ある全国103の重要港湾を絞り込み、集中投資する40ほどの港湾を「重点港湾（仮称）」として選ぶ作業を進めています。三河港・衣浦港でも「重点港湾（仮称）」として選ばれるよう、関係する方々が取り組みを続けているところです。

説明会の中で、当事務所長から「重点港湾（仮称）」の指定を目指す三河港について、選定基準のポイントなどを説明し、今後どれだけ港としての実績を伸ばせるか、また地元企業の経営努力などを考慮し、効率的な運営体制を確立できる見通しがあるかが選定されるためには重要なことであると話しました。



当事務所長の説明の様子

☆編集後記☆

梅雨明けを待っていたかのように、朝、通勤時バス停付近の街路樹でクマゼミが鳴き始めました。

セミにもいろいろな種類がいて、私が子供のころ新城でよく捕まえたのがニイニイゼミでした。

10年ほど前、住んでいた田尻町(大阪府)はクマゼミしかいないのか！？という状態で1本の木に

50～60匹のクマゼミが張り付き大変な騒ぎでした。

名古屋はなぜかアブラゼミが多くいたし、妻の故郷、長野県はミンミンゼミが多かったようです。

地域によってセミの種類に違いがあるのでしょうか？

夏本番、海で遊ぶ機会も増えると思いますが、安全に注意して夏を満喫しましょう。